

「論理・表現Ⅰ」シラバス

学科	商業科	学年	1 年	類型		組	5 組	単位数	2
使用教科書	Vision Quest I English Logic and Expression I Standard (啓林館)								
副教材等	Vision Quest I 総合英語 3rd Edition (啓林館) New Vision Quest 論理・表現Ⅰ Standard WORKBOOK (啓林館)								

1 学習の到達目標

① 日常的な話題や社会的問題について「話すこと」によるやりとりや発表を通して、コミュニケーション能力を育成し、情報や考えなどを論理的に工夫して伝えることができる。
② 日常的な話題や社会的問題について「書くこと」を通して、コミュニケーションを図る上で必要な発信能力を育成するとともに、情報や考えなどを論理的に工夫して文章を書いて伝えることができる。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を更に深め、実際のコミュニケーションにおいて、場面や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図や考えを的確に理解したり、自分の考えや気持ちをまとめ、積極的に伝えたりしようとしているか。	(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)ペアワークやグループワークへの参加状況 (2)教師の質問に対する応答	
課題などの提出状況	(3)週末や長期休業中に指示する課題 (4)日々のプリント	
言語活動の観察	(5)スモールトーク等の会話 (6)プレゼンテーション (7)ライティング活動	
インタビューテスト	(8)口頭テスト (9)音読テスト	
ペーパーテスト	(10)定期考査 (11)長期休業後の確認テスト (12)小テスト	

3 学習の計画 (Vision Quest は V と標記、Vision Quest 総合英語は総と標記)

※50 分の授業の前半 30 分程度は Vision Quest を、後半 20 分程度は Vision Quest 総合英語を使用して言語能力の育成に重点を置く。

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	V : Lesson1, ASSISTANT 1 総: 第 1 章 V : Lesson 2 総: 第 2 章 V : Lesson 3, ASSISTANT 2 総: 第 3 章 V : Lesson 4 総: 第 4 章 V : Lesson 5, ASSISTANT 3 総: 第 5 章	・ 初対面での会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 ・ 文の種類について学ぶ。 ・ 学校生活で行われる生徒同士のやりとりを学ぶ。 ・ 文型と動詞について学ぶ。 ・ 旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 ・ 時制について学ぶ。 ・ 趣味や関心について、その経験を尋ねたり、伝え合ったりする表現を学ぶとともに、平易な文を作って表現する。 ・ 完了形について学ぶ。 ・ 将来や進路について、自分の意見や考えを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 ・ 助動詞について学ぶ。	(9) (7)(8) (6)(7) (8)(9)
二 学 期	V : Lesson6 総: 第 6 章 V : Lesson 7 ASSISTANT 4, 5 総: 第 7 章 V : Lesson 8 総: 第 8 章 V : Lesson 9 ASSISTANT 6 総: 第 9 章 V : Lesson10 総: 第 10 章	・ 日常会話を通して、感情や物事を詳細に表す表現を学ぶ。 ・ 受動態について学ぶ。 ・ 友人同士の会話を通して、感情を表す様々な表現を学ぶ。 ・ スピーチの手順やプレゼンテーションの概要を学ぶ。 ・ 不定詞について学ぶ。 ・ スポーツにおける会話を通して、勧誘の表現を学ぶとともに、得意な活動について文章を書く。 ・ 動名詞について学ぶ。 ・ 意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明したりする表現を学ぶとともに、ディベートの基礎知識を身に付ける。 ・ 分詞について学ぶ。 ・ 日本文化の紹介や異文化の違いを述べる表現を学ぶとともに論理の展開を工夫して、意見や主張の理由について文章を書く。 ・ 関係詞について学ぶ。	(7)(9) (6)(7) (7)(9) (6)(8) (6)(7)
三 学 期	V : Lesson11, ASSISTANT 7 総: 第 11 章 V : Lesson 12 総: 第 12 章 総: 第 15 章 総: 第 16 章 総: 第 17 章 総: 第 18 章 総: 第 19 章 総: 第 20 章 総: 第 21 章・第 22 章 総: 第 23 章・第 24 章	・ 公正取引についての会話を通して、提案や称賛する表現を学ぶ。また、ディスカッションの手順も学ぶ。 ・ 比較について学ぶ。 ・ 日本の社会問題について、ディスカッションを通して、意見や考えを伝えたり相手の助言を求めたりする表現を学ぶ。 ・ 仮定法について学ぶ。 ・ 無生物主語構文・名詞構文について学ぶ。 ・ 話法について学ぶ。 ・ 接続詞について学ぶ。 ・ 前置詞について学ぶ。 ・ 疑問詞について学ぶ。 ・ 名詞について学ぶ。 ・ 冠詞と代名詞について学ぶ。 ・ 形容詞と副詞について学ぶ。	(6)(8) (6)(9) (7)(9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。